

## ユニバーサルデザイン内覧会が実施されました。（令和4年5月26日）

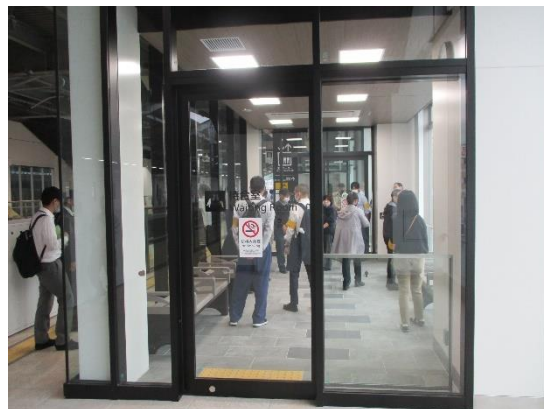
令和4年5月26日に鉄道・運輸機構の主催により駅舎のユニバーサルデザインを体感する内覧会が実施されました。

誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいた駅舎づくりのため、平成29年の設計の段階で福祉団体関係者との意見交換を行っており、今回、長崎県内の新大村駅、諫早駅、長崎駅の駅舎が概ね完成したことから、意見交換を行った団体関係者のご参加のもと、開催されました。

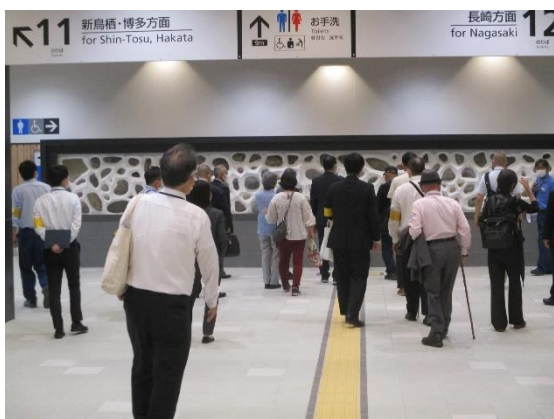
3駅すべてを周り、各駅で概要説明を受けたのち、駅舎内の誘導サインや点字案内、昇降機、可動式ホーム柵、トイレの設備などを見て、触れて、音を聞いて体験され、使い心地や配置などを確認されていました。



長崎駅 概要説明



諫早駅 ホーム待合室



新大村駅 柵内コンコース



講評の様子

● 設備紹介



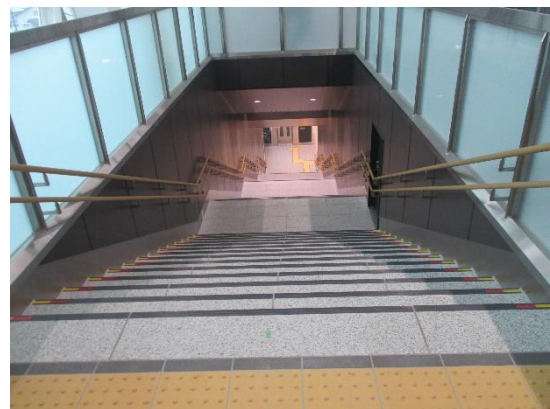
諫早駅 柵内コンコース誘導サイン  
正面奥に見える誘導サインは、鹿児島ルートのものとは比べて文字が大きくなっており、見やすくなっています。



新大村駅構内案内（音声・点字案内付き）



長崎駅 トイレ案内板（点字付き）  
（どちらもかぶせたアクリル板に点字が記載されています。）



↑ 新大村駅 階段

← 長崎駅 エレベータ

両方向に出入り口があり、2階でこちらから乗り込み、1階では向かいの扉が開きます。車いすは、方向転換や後ろ向きで出ることなく、まっすぐ進んで出ることができます。



長崎駅 可動式ホーム柵付近の案内表示  
可動式ホーム柵の横に設備の案内板が設置され、点字も記載されています。



長崎駅 トイレ  
トイレ入口には対応している機能がピクトグラム付きで表示されており、各個室の入口にも個室に備わっている機能がピクトグラムで表示されています。  
男性用トイレにもベビーシートが備わっています。



男性用・女性用トイレの間に「みんなのトイレ」が設けられ、介護ベッドなども備わっています。